

## 2020 年度第三回理事会議事録

- ・日 時 2020 年 10 月 24 日午後 5 時～午後 6 時 20 分
- ・場 所 ログスランド、会議室  
京都府城陽市寺田大川原 24-4
- ・出席者 ; 吉田進・石田直章・中ノ瀬啓作・田村祥(リモート)  
吉田寿子(事務局)
- ・議長 理事長(吉田進)
- ・議事録署名人 石田直章・中ノ瀬啓作
- ・審議・決議事項

### ① 役員変更について

\* 2021 年 4 月 1 日より役員 70 歳定年制を導入する事を次回総会(2020 年 11 月 14 日予定)に正式に上程する事が承認された。総会で承認されれば、吉田、中ノ瀬、田村の 3 理事は、2021 年 3 月末日を以って理事を退任する。

\* 上記 3 理事の退任に伴う、後任理事として、次の 4 名の候補者を 2021 年 3 月に予定されている総会に上程の上、正式に理事就任の承認を総会に諮る。

徳永大作

森英二

井岡雅子

齋藤れい(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授)

\* 新理事会が成立後も委員会委員長の職については、入替わりは無いものと確認する。

\* 次期理事長候補は石田直章とし、これを承認した。

ただし、2021 年のパラリンピック開催如何によって、石田理事長体制への移行を下記 2 案とする事が併せ承認された。

① パラリンピックが開催されない場合は、2021 年 4 月 1 日を以って石田理事長体制をスタートさせる。

② パラリンピックが開催された場合は、現吉田理事長がパラリンピック組織委員会パワーリフティングスポーツマネージャーとして勤務している関係から、パラリンピック終了月(2021 年 9 月)まで吉田理事長体制を継続し、新石田理事長体制は、2021 年 10 月 1 日より発足するものとする。

(この場合、吉田理事は、例外扱いとして、2021 年 9 月末まで理事に留まる事を、総会に諮り承認を求める。)

### ・審議・草案事項

#### ① ガバナンスコード審査

a) 現在、全スポーツ団体のガバナンス状況調査が行われ、2024 年のパリパラリンピックまでに、ガバナンス状況(ガバナンスコード)がもれなく整備されることが要請されている。パラ・パワーの最終調査は 2022 年に行われる。このガバナンスコードを満たさない団体は、助成金申請をする権利を失う。(したがって助成金なし)

b) パラ・パワーの最終ガバナンスコード審査までの手順

ア) 2020 年 10 月 31 日までに、現在のガバナンス状況を JPC に提出する。(自己説明)

全コードの内、既に整備しているもの、又連盟事情でまだ整備できていないものを先ず説明し、一方各ガバナンスコードに付随する各種規定の整備は、連盟顧問弁護士に依頼して見直し・必要に応じ改定の上これを JPC に提出する。

イ) 2021 年 7 月 31 日までに、整備されてないガバナンス項目の解決を図る。

各種規定は連盟組織図(指揮命令系統)との整合性に留意して修正し、弁護士の意見を取り入れながら完成を目指し、再度、連盟ガバナンス状況の説明を行う。

ウ) 2022 年 7 月 31 日までに、上記イ)でまだ不十分と見做されたガバナンス状況の更なる改善・完成を図り、その上で最終的なガバナンスコード審査を受ける。

#### ② 全日本の参加標準記録の見直し

a) 男子の標準を少し上げる

b) ジュニア、女子の標準記録を設ける。

c) 上記は 2021 年度全日本より実施する

以上、審議事項を終了したので、理事長より、閉会が宣言された。

議事録署名人

石田直章



中ノ瀬啓作



理事長

吉田進



以上